

研究課題名	大腸癌症例についての臨床病理学的検討に関する観察研究
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	大腸癌に対する手術は従来の開腹手術に加え、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術等の低侵襲手術が普及し、飛躍的な進歩を遂げています。また大腸癌に対する薬物治療も新しい薬剤が次々と開発されています。当院でのロボット支援下手術や薬物治療に関するデータを集積し分析することで、この地域の大腸癌の特徴を捉えることができ今後の大腸癌治療に役立つと考えました。 この研究で得られた結果は関連する学会等で発表したいと考えています。
研究対象者	2017 年から 2025 年 3 月までの間に当院外科で大腸癌に対して手術もしくは薬物治療を受けられた方
利用又は提供する試料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、性別、既往歴、術前治療の有無、身長、体重、PS (performance status)※、腫瘍占拠部位、深達度、リンパ節転移、遠隔転移の有無、病期、近位側断端距離、遠位側断端距離、剥離断端距離、手術式、リンパ節郭清度、人工肛門造設の有無、手術時間、出血量、術中・術後合併症の有無、術後住院日数、術後治療の有無、再発の有無、最終無再発確認日、最終生存日 (※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します) 化学療法に用いた薬剤の種類、投与量、副作用の有無や程度、血液データ、レントゲンや CT、MRI 等の画像データ
研究予定期間	機関の長の実施許可日～ 2026 年 3 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 外科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 外科 土橋 洋史 メールアドレス：h_tsuchihashi@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001 (代)